

発行 下諏訪町
教育委員会
編集 生涯学習
編集委員会

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40
(下諏訪総合文化センター内)
☎ 0266-27-1111(内線718)
FAX 0266-28-0131
メール syougai@town.
shimosuwa.lg.jp

コロナ禍での一年間の分館活動を振り返って

第一区 太白社里曳き 注連縄作り講習会

分館長 千野 幸一

本年は「縁(えにし)」を尊重し、「英知」を結集し、「笑顔」を持って行事を催行する予定でした。

しかし、「コロナ」の影響で四十余名の分館運営委員会を一度も集められず、分館長含め十人の部長会で企画・運営を実施せざるを得ない状況でした。その中で、薩摩上人供養祭・津島神社祭は人数を最小限に絞り神事のみ挙行しました。



注連縄作り講習会

六年に一度の太白社里曳きは例年ですと、騎馬・長持ち等多彩な催し物を実施し、出店も多数用意しましたが、

今回は残念ながら中学生以下には菓子、それ以上の方には焼鳥、全員に飲み物を用意しただけでした。

注連縄作り講習会は、人数を極力抑えるため、自作できる方は材料一式を持って帰っていただき、特筆すべきは、事前に講師に注連縄を製作いただき、カラーでテキストを作成し当日配ったことです。



太白社里曳き

第二区

「下諏訪の里山に暮らす鳥たちの観察」「そば打ち体験講座」 「二区の明治・大正・昭和を巡る」

分館長 山田 昌弘

本年度も万全なコロナ対策を行い、第2区のスローガン「伝統と文化を守り、心ふれ合う町づくり」のもと、ひと月に一事業を目指し、新しい事業を開催しました。その中の三つの事業を紹介します。

一つ目は、「下諏訪の里山に暮らす鳥たちを観察しよう」でした。諏訪湖のオオワシ「グル」の名づけ親の林正敏さんを講師に、二区の里山を散策しながら望遠鏡やスコップで鳥の生態やさえずりを感じながら参加者の方々と楽しい学びの時を過ごしました。



鳥の観察会

二つ目は、「四王蕎麦の会」の方々に講師にお願いし、「新そばを食べようそば打ち体験講座」を行いました。区広報「下の諏訪宿」に、そばの豆知識、下諏訪宿や諏訪地方での蕎麦の歴史を載せたところ、関心をもっていただき多くの参加がありました。そば打ちの難しさを実感し、帰宅後は蕎麦自慢談議に家族笑いの渦でした。

三つ目は、二区の明治・大正・昭和の時代の変動を辿る旅でした。二区はかつての下諏訪村で行政・産業・娯楽の中心であり、現在の町の礎を成した地域でした。参加者の三・四代前のご先祖様方が苦勞し楽しんだ生活の場を旅する事ができました。現在の二区を改めて見つめ直すよい機会になったと考えております。



そば打ち体験

二区分館では、区内に生息する鳥や昆虫など、また明治から昭和までの暮らしの移り変わりを分館運営委員が手作りで冊子にして、区内に無料配布する予定です。



「星ヶ塔遺跡」現地の見学

現地では、発掘の逸話、2021年にNHKで放送された「ブラタモリ」の収録時の逸話などを交えて興味深い解説をしていただきました。

当日は「星ヶ塔ミュージアム矢の根や」で星ヶ塔遺跡にまつわる歴史や文化的背景など概要について説明を受け、マイクロバスで現地へ移動。

縄文時代の資源開発とその流通・文化・歴史に触れることを趣旨とし、講師を諏訪湖博物館の宮坂清館長にお願いしました。



「矢の根や」にて

第三区 星ヶ塔遺跡見学会

分館長 諏訪 敏和

第四区 区民文化祭

分館長 堀内 昌明

新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ2年間開催出来ない状況でしたが、本年は11月13日(日)に分館行事の目玉として文化祭を実施しました。音楽祭と文化講座をセットにし、大勢の区民の皆様が地元の魅力を知ってもらいたいと企画しました。



向陽高校吹奏楽部の演奏

音楽祭は地元に向陽高校吹奏楽部の演奏を目玉に据え、区内回覧で出演者を募集したところ、関親子によるギター弾き語りライブと、かつて四区内に練習会場があった下諏訪町発祥の諏訪響弦楽五重奏団に参加していただき、

予想以上の盛り上がりとなりました。

文化講座は南小4年生の鮎澤優奈さんによる「わたしのたからもの」と題した英語スピーチ発表に続き、諏訪神仏プロジェクト企画局長の石笠三千穂さんによる「久保村まるごと神宮寺」と題した講演を行い、講演終了後は、有志で史跡めぐりに出掛けました。



南小4年鮎澤優奈さんの英語スピーチ

第五区 注連飾り&ミニ門松講習会

分館長 小口 雄太郎

12月4日公民館にて注連飾りとミニ門松の講習会を行いました。新型コロナウイルスが収まりきらない中での開催で、参加人数が心配されましたが、注連飾りが17名、ミニ門松が18名、合計35名の参加がありました。

講師は、注連飾りに久保田利広さん、ミニ門松に岡秀明さん、長崎神平さん、小口穂高さんです。注連飾りでは二人一組になって声をかけ合いながら藁を縫って編み込んでいたり、門松では飾りに拘り苦戦されたりする姿が見られました。



二人一組で藁を縫る

例年参加されている方だけでなく、今年初めての方もいて、「毎年見慣れている物が、自分の手で形になって嬉しかった。参加できてよかった。」と言って帰られました。



講師の指導でミニ門松を作る

この「自分で作ってみて楽しかった」が、技術の伝承に今後繋がっていきたくれば嬉しいですね。

◎下諏訪総合文化センター3月の休館日は、7・14・22・28日です。

第八区 健康講座&歩け歩け運動週間

分館長 三宅 満 みやけ みつる

少子高齢化にコロナ禍が追い打ちをかけ、分館活動は難しい状況にあると感じています。今年度は、外出自粛による体力低下の解消として、「健康講座」と「歩け歩け運動週間」を連携して実施しました。

「健康講座」は、6月26日に町の健康運動指導士を講師に迎え、体組成計で体幹や左右の腕や足などの部位ごとに筋肉量や体脂肪率を測定しました。この結果から強化すべき部位の筋力トレーニングを指導していただきました。



体組成計で測定



筋力トレーニング

「歩け歩け運動週間」は、健康講座の参加者を中心に各自歩行距離・歩行時間・歩数など、自分の体力に見合った目標を設定し、7月1日から2週間実施しました。「健康講座」は昨年度から、「歩け歩け運動週間」は今年度から始めました。これらの運動が区民に認知され、多くの方が参加されることを願っています。

第七区 区民福引大会

副分館長 小松 俊彦 こまつ としひこ

新型コロナ禍で熊野神社例大祭前夜祭の中止を受け、イベントの代替企画として、10月30日(例大祭当日)に神社の駐車場にて区民福引大会を開催しました。

事前に引換券を全戸配布し、景品は嵩張らないように主は商品券、ハズレを無くし、末等は台所用スポンジ、別に参加賞として町の「燃やすごみ袋」を用意しました。また子どもにはお菓子の詰め合わせを配布しました。

開始予定時刻を前にかなりの人が並んだため、15分早めて福引を始めました。天候にも恵まれ大変盛況で、福引参加は264世帯にのびりました。会場近くの行屋横では婦人部による甘酒のふるまいもあり、祭りの盛り上げ、区民の交流に役立ったと思います。



区民福引大会



福引を「まわしたワン」

第八区 注連縄飾り講習会

分館長 松澤 隆志 まつざわ たかし

12月4日(日)公民館で「注連縄飾り講習会」を行いました。子供から大人まで参加していたいただき、本格的な大人向けと子ども・初心者向けの二種類の飾りを用意し、日本伝統の注連縄飾り作り体験を実施いたしました。

午前八時より開始、公民館の外と中を使い講師の守屋さんの指導を得ながら作業を開始しました。

今回初めて参加した親子は、「こんなに難しいとは思わなかった」と注連縄飾り作りの難しさに悪戦苦闘しながら、親子で作製に取り組んでいました。各々が思いを込めた注連縄飾りを完成させていました。コロナ禍の中での講習会となりましたが、公民館の敷地を広く使うことで、区民の皆様には安全に参加していただけたと思います。



公民館で注連縄作り



初めての人も講師の手ほどきを受けながらチャレンジ



クリスマスカードに図書券を入れてプレゼント

ちの家に届けるささやかなイベントです。その家族で笑顔が一回増えたのではないかと思います。

12月18日に公会所に恒例の注連縄飾り講習会を開きました。昨夜からの雪で寒い朝になりましたが、年配者を中心に、初参加者3名を含む12名が、区内の講師の方のもとで和気あいあいと楽しく作りました。出来栄はとでも良く、家で家族に喜ばれる程でした。

そして、もう一つ、この冬に初めて行ったことが、小中学生にクリスマスプレゼントを届ける「星のサンタのプレゼント」です。クリスマスカードに図書券を入れて、PTAさん



注連縄飾り講習会

第九区

注連縄飾り講習会
星のサンタのプレゼント

分館長 木暮 勝
こくれ まさる

第十区

地域の歴史探訪史跡めぐり

分館長 宮坂 泰幸
みやさか やすゆき



信州ふるさとに見える丘
鎌倉街道ビューポイント

講座終了の後、講師からの提案を受け、林常雄氏が過去に編集纂した「とんべの里めぐり」を削除修正し、フルカラーの保存版として全戸配布を行った。当事業が地域の宝を見直す一助になれば幸いである。

地区内の史跡看板の更新が完了したことから、「地域の歴史探訪史跡めぐり」と銘打って、運営委員会研修会を兼ね家庭教育講座を実施した。

地区内には、史跡看板が設置された史跡のほか、隠れた名所も点在し、語り継がれる場所をめぐり、改めて地域の歴史を学ぶ有意義な時間となった。

講師をお願いした今井康氏からは、史跡に関する詳細な説明をいただいた他、第十区が分区に至った当時の興味ある話や、富部温泉の開湯から閉鎖に至った逸話等々時間を忘れる講座となった。



「道祖神・庚申の碑・力石」の前で説明を聞く

下諏訪町公民館 春休み講座 参加者募集

■ 申込み・問合せ 下諏訪町公民館 ☎28-0002
mail : koumink@town.shimosuwa.lg.jp

● 布のお花ブローチ作り講座

日時 3月20日(月) ①午前10時～正午 ②午後2時～4時
講師 麻川 こずえ さん
対象 各回 一般(小学生以上)10名
受講料 500円



● レジンでストラップ作り講座

日時 3月21日(火)
①午前10時～11時 ②午後2時～3時
講師 今井 美貴 さん
対象 各回 一般(小学4年生以上)10名
受講料 500円



● シイタケの菌打ち講座

日時 3月26日(日) 午前9時～正午
講師 諏訪森林組合職員
対象 15名
受講料 1,500円



いずれも 申込 3/2(火)午前9時～電話・窓口にて先着順

『ものがたりをめぐる物語』映画会

僕が諏訪から暮らし直したい理由、
私が伝えたい諏訪の大切なこと。

日時 3月4日(土) 午後1時～4時30分
内容 ①映画『ものがたりをめぐる物語』
前編/後編 上映(各61分)
②シネマセッション
由井 英 さん(監督)
小倉 美恵子 さん(『諏訪式。』著者)
定員 150名
会場 下諏訪総合文化センター 小ホール
参加費 無料
主催 下諏訪町・下諏訪町教育委員会
共催 ささらプロダクション
協力 下諏訪みらい塾
申込 不要、直接会場へお越しください。

◎下諏訪図書館3月の休館日は、3・6・13・20・22・27日です。

令和4年度 下諏訪町公民館・勤労青少年ホームの講座報告

下諏訪町公民館を拠点に、運動、語学、料理、美術工芸、郷土の歴史、伝統文化など、さまざまな学習をし、交流を深めました。今年度行った講座の一部を報告します。

公民館が素敵な出会いの場所になるよう、これからも楽しい講座を企画していきます！

平日の講座

ロープで作る布ぞうり はじめの一步講座



SDGsにちなんだものづくりがよかった健康にもつながる!!

手話講座



手話を覚えていろんな人と友達になりたいな

はじめてのフラメンコ講座



和気あいあいと楽しく練習できました

シニアのスマホ入門講座



スマホの基本的な使い方がわかりました勉強になりました

【オンライン講座】K-popから学ぶ韓国語講座



K-popが大好き! 楽しく勉強できました

手作りこんにゃく講座



こんにゃく芋から作るこんにゃくの作り方を学びにきました

みんなで語ろう! 下諏訪の地名

「諏訪」はかつて「洲羽」や「須波」と表記

古代諏訪にあった「土武(とむ)」の郷はどこにあったのだろうか?



自主講座・サークル自主講座

町民有志やサークルによる自主講座を開催しました。令和5年度の自主講座も募集中です!

秋のチョークアート講座



ハロウィンのかぼちゃと思い思いのイラストを描きました



フォークダンス講座



一緒に楽しく踊れました

夏休み講座

おもしろ科学実験講座

親子で科学実験にチャレンジしました

- ・色水のレインボータワー
- ・人工イクラを作ろう など



いろいろな実験ができて楽しかった!



ウクライナのひまわりをアクセサリーに ～陶芸体験～

かわいいひまわりのアクセサリーができてよかった



土・日・祝日の講座

草木染め講座

シュレーゲルアオガエルの鳴き声を聞きに行こう!



八島湿原の成り立ちを学びました

同じ材料でも異なる色に仕上がることが楽しみに感じました



えいごであそぼう

Listen!!

Listen!



たのしい日本語初級講座

日本語は難しいけれど
おもしろいです



きのこ採り講座



食用と不食の見極めを
図鑑だけでなく間近で
教わり勉強になった

三月のうえ

早いもので今年度も残すところ一か月となりました。この春、卒業や入学、就職など様々な節目を迎える方も多いのではないのでしょうか。かくいう私も社会人一年目が終わろうというところです。

期待と大きな不安を抱えて始まった一年前の春。知らないことばかりの混乱と手際の悪さ。この一年を振り返るとどうしても反省や苦々しい思いばかりが浮かびますが、よく頑張ったと自分を褒められることももちろんありました。そのひとつがお弁当作りです。どうしても朝起きられず、白いごはんはインスタント味噌汁だけなんて日もありましたが、社会人一年目、お弁当作り一年目でほぼ毎日作り続けたことは褒めてもいいのかなと思います。

しかしながら、こうして自分でお弁当を作ってみると高校生活の三年間、忙しい中、毎日欠かさずお弁当を持たせてくれた母に感謝するとともに、その偉大さを感じます。朝なかなか起きられず、朝ごはんをあまりたくさん食べないかわりに、お昼に栄養が取れるようバランスを考えておかずは野菜多めに、肉と魚、卵が日替わりで入っていました。隙間が埋まって便利だからと、頻繁に入っていた甘い卵焼きも大好きでした。

まだ母のようにバランスよくとはいきませんが、作り置きなど工夫をしながら、また一年頑張っ作っていきたいと思います。来年度の目標は栄養バランスよく、彩りもよくできようか。

(教育こども課 赤羽紗也加)